

オリーブ通信

2016年
9月号
2016.9.10発行
第179号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

中秋の名月は9月15日ですが、
17日・18日の夜に近江八幡で夜の情緒を
楽しめる八幡堀祭りが開催されます。
「町家見学」「灯り」「コンサート」
17日はオリーブお休みです。お月見をかねて
みんなで出かけてみませんか。



中川先生のへんてこ日本語

74

メダルなしでは帰られへん？

オリンピックをテレビで観戦していて、面白いことに気が付いた。メダリストへのインタビューで、「ここまで来れた」「間近に見れた」「なんでも食べれる」など、みんながみんな「ら抜き言葉」を使っているのだ。選手は若い人が多いので、それもさほど不思議には思わないが、さすがにインタビューアーのキャスターは「来られた」「見られた」などと、「ら抜き言葉」を使っていないことに安心した。

ここで不思議に思うのだが、「来る」「見る」「食べる」などの使用頻度の高い動詞は、普段耳にしたり口にしたりにすることが多いだろうから、インプットがアウトプットに結び付くという原理は成り立つが、「連覇が成し遂げられた」「目標が見据えられた」などの使用頻度の低い動詞も「ら抜き」化してしまう。

日本語学習者なら、グループ1(五段)動詞、グループ3(一段)動詞などと、一つひとつの動詞をグループ分けして、文法を意識しながら発していくしかないのだが、母語話者の場合は、すでに頭の中でポイントが切り替えられており、そこにしか入線できないようなシステムが出来上がっているのではないかと推測される。

同じくインタビューを受けた関西方言の話者が、「メダルなしでは帰られへん」と言ったが、なぜかまともな日本語を聞いたような気がした。関西方言では、グループ1(五段)動詞は、「行かれる」「書かれる」「入られる」のように尊敬の形と同じ活用をする。関西の若い人たちは、「行く」「は」は「行かれる」「食べる」は「食べれる」と、本来の可能形と逆の方向へ進んでいっているのが面白かったのだ。

それにしても「ら抜き言葉」花盛り。「ら抜き」なしではしゃべられへん。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



教科書だけじゃ学べない。

生活者としての外国人のための関西弁講座(8月20・27日)

関西弁、いざ教えるとなったら、めっちゃ言葉が多かった！皆さんには「喋ってなんぼ！」どんどん話してもらった。指導者が会話の見本を示すと、毎回、笑いと拍手がおこった。ある生徒さんは、講座中ずっとニコニコ笑っていた。また、ある生徒から「言い方が可愛いです。

(自分の国には) そんな言葉はないです。」と言われた。関西弁は標準語と比べると汚い言葉だと思っていた私はとても嬉しかった。第1回では、会話文を発表してもらい、第2回では、生徒さんにオリジナル関西弁会話を考えてもらい発表してもらった。習った関西弁をふんだんに使い、10分で作った生徒さんの会話作品の一部(右)と、講座後の感想を紹介したい。(下)

(講座担当：杉山美・小春、文責：小春)

「(食べ) へん」「(見い) ひん」「(知ら) ん」(否定)
 「(寝たら) あかん」「(帰ら) んといて」(禁止)
 「(行かな) あかん」(義務)
 「(言わ) はる」(敬語)、「(食べ) てもええ」(許可)
 「(休み) や」(断定)、「(休み) やったら」(仮定)
 「(休み) やろう」(推量)、「(やって) まう」(完了)
 「(忘れて) しもた」(残念)
 「(教え) たげる」「(貸し) たる」
 「(貸して) もろた」(やり・もらい)
 「～ねん、～たん、～やん」等(文末)
 他、一字は伸ばす、数個の単語、発音、絵本を紹介。

A: 何か^{なん}食べに行こうか。
 B: 焼肉食べたいわあ。
 A: ええなあ。(中略) あっ、財布忘れてもた。
 B: しゃーないなあ。おごったるわ。
 A: おまえ、ええやっちゃなあ。

お見事！



おい、誰や？こんなところに荷物置いたんは。

あ、それはさっき班長が置かれました。



関西人ふたりに会話を読んでもらって録音している人もいました。熱心だね！

- ・滋賀県で関西弁を“ぎょうさん”聞いていつか習いたいと思っていたんですが、ほんとにいいチャンスをいただきました。めっちゃ楽しくおもしろい時間でした。(韓国・女性)
- ・関西弁難しい。とても困っています。何を言ってるか全然わかりません。この講座で勉強しました。(ベトナム・男性)
- ・とてもおもしろかったです！！3回目待っております。ほんまにおおきに！(ブラジル・女性)
- ・めっちゃ面白くて仕事に役に立ちます。(ベトナム・男性)
- ・もっともっと関西弁を話そうと思いました。(ブラジル・女性)
- ・関西弁は英語や中国語以上に難しく、50年以上関西に住んでいながら、いまだに全く喋れません。(日本・男性)



もう一回やります！
 関西弁講座 好評につき継続決定！
 10月22日(土) 5時pm~7時pm

坂の街、長崎

豊村信良

私の故郷は長崎県の佐世保というところですが、お盆に帰省したのをきっかけに少し紹介してみます。長崎は、鎖国していた江戸時代も唯一貿易を許されていた所で中国、オランダなど海外文化が入ってきた玄関口です。出島や中華街などが作られ、キリスト教教会や世界遺産となった洋館も残されています。

次に地理的な特徴ですが、とにかく坂が多い。平地が少なく海岸からすぐに丘陵や山が迫っているためです。その代わり高地からの眺めは絶景で、長崎は函館、神戸と共に日本三大夜景にも選ばれているほどです。

さて我が街、佐世保ですが長崎市同様、坂の多い港町です。見所は九十九島と呼ばれるたくさんの島々が点在する絶景の海です。映画「ラストサムライ」の冒頭に出てくる海のシーンのロケ地にもなりました。

また、オランダの街並みを運河まで含め、リアルに再現したハウステンボスというテーマパークがあります。

食べる方に目を移しますと、名物といえば長崎ちゃんぽんですね。お菓子でいえば長崎が伝来の地でもあるカステラでしょうか。ここではちょっとそれらはずして、おもしろいご当地グルメを2つ紹介します。

その名はトルコライス。と言ってもトルコ料理ではありません。ピラフとスパゲッティの上にトンカツを乗せた料理です。なぜこんな組み合わせなのか、なぜトルコライスというのか、なぜ長崎発祥なのか…それは私も知りません。

もうひとつは佐世保バーガー。佐世保には米軍基地があり、米軍から1950年ごろにレシピが伝わったハンバーガー伝来の地なのです。ここではマ〇〇〇ルドが上陸するはるか以前にすでにハンバーガーが食べられていたのです。

いかがです、和洋中が混在するエキゾチックな街長崎にいつペン来てみんね、よかとこよ～！

佐世保九十九島



長崎港



中華街



トルコライス



介護のための日本語教室

中川 正幸

少子高齢化による介護現場での人材不足を補うため、滋賀県では外国の人を対象とした介護職員養成研修を行っています。去年からスタートし、今年で二回目だそうです。研修は前半と後半に分かれており、6月～8月中までの前半は日本語の勉強がメインの授業となり、介護の場面で使われる日本語を勉強します。9月～12月は実践的な介護の知識や実技などを勉強します。今回、前半の授業をお手伝いさせていただき、その報告をさせていただきます。



自分自身は介護に関しての知識は全くなく、授業の準備をしながら勉強しました。

インターネットが発達した時代に生まれて、本当に良かったと思います。そのように苦労して教案を作って授業に臨むのですが、意外なところで質問がでたりして、時間管理も大変でした。例えば「正座」を間違っていて覚えている人が多く、よくよく聞くと「上座」と間違っているようでした。また、ジェネレーションギャップを感じる場面もあり、「氷枕」の写真（ゴムできていて、中に氷水を入れるタイプ）を見せると、「今はジェルです。」と突っ込まれることもありました。

授業では毎回、一人の人に3分間のスピーチをしてもらいます。テーマは自由で、それぞれの国の文化や祭り、家族の事など、とても興味深い話を聞くことができました。また、普段はとても明るい人が多かったのですが、それぞれに苦労したり、大変な経験をして介護の仕事を目指している方もいて、考えさせられることもありました。

授業準備などとても大変でしたが、授業の終わりに毎回出してもらった報告書がだんだんよくなっていったり、はじめはひらがなを書くにも五十音表を見ながら書いていた人が見ずに書けるようになっていたり、漢字を全く知らなかった人が「組み合わせで意味を考えるのが面白い」と言ってくれたり、とても嬉しいことが多く、機会があればまたやってみたいと思いました。





先月の活動(8月)



今月の活動予定(9月)

日本語教室	8/6(M),20,27 (3回)
文化庁助成講座打合せ	8/2 (火) (杉山・小春)
文化庁助成講座	8/20,27 (土) (杉山・小春・内田)
まちセン全体会	8/18 (木) (恩地)
BNN 指導者養成講座	8/28 (日) (佐野)
立命館大学学生ボランティア1日体験受け入れ	8/20 (土)

日本語教室	9/3(M),10,24 (3回)
文化庁助成講座 KIFA と打合せ	9/3 (土) (恩地)
KIFA 文化庁事業ネットワーク会議	9/5 (月) (恩地)
まちセン施設部会	9/16 (金) (田中・前田)
KIFA 指導者研修講座	9/11 (日) (重松・辻・恩地)
同上	9/18 (日) (豊村・中川・恩地)
同上	9/25 (日) (千野・前田・恩地)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



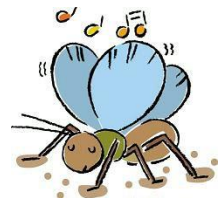
参加人数(8月)

	8/6	8/20	8/27
生徒	30人	27人	27人
先生	15人	22人	22人



会員の動き(8月)

〈入会〉〈休会〉〈退会〉〈賛助会員〉なし



お知らせ

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業。いよいよ指導者研修講座が始まります。9月の講座は主に日本語文法について学びます。特に第3回(9/25)は講師の模擬授業が見られ、オリーブの学習者も生徒役で参加します。これは必見です!

第1回 9/8(木) 9/11(日)
第2回 9/15(木)9/18(日)
第3回 9/29(木) 9/25(日)

時間:いずれも10時~12時
会場:草津まちづくりセンター



はじめての日本語ボランティア講座 参加者募集中!

第1回
『これだけか』

……これだけは、なにがなんでも知っておきましょう

- 日本語を教える際に必要な知識として
 - *日本語文法と学校文法(国語文法)との違い
 - *外国語としての日本語を知ること
- 教える前に知しましょう
 - *動詞の活用について(学習者の動詞の覚え方・区別のしかた)
 - *自動詞と他動詞について(学習者の母語によっては、自・他の区別がないことも)

第2回
『できればこれも』

第3回
『ゼロ初級の人との遭遇』

……少し詳しく知っておきましょう

- 教える前に知しましょう
 - *形容詞について(「形」での分類、「意味」での分類)
 - *格助詞の働きについて

……楽しく教えましょう

- こんな授業のしかたもあります
 - たくさん話して、たくさん聞いて、たくさん覚えることができる授業の一例
 - *模擬授業
 - *市内の日本語ボランティア教室の案内

中村さんの季節折々 9月(長月)

サイレンと拍手歓声夏の雲 ケンジ

日本では、甲子園球場という大きな野球場で高校生の野球の全国大会があります。テレビでも放送します。100年つづいています。日本人に人気があります。試合が始まる時に大きなサイレンの音が鳴って、お客さんが「お～」と大きな声を出して拍手するのが日本人らしいです。はじめて見た人は感動します。まだ野球を見たことがない人は、来年一緒に甲子園に行きましょう。

中村健治

編集後記: 秋はバードウォッチング愛好者の中でもタカ好きの面々が落ち着きをなくす季節です。なぜか?! タカの渡りが始まるからです。鳥の中でも飛ぶ姿の美しいサシバ、ハチクマなどの猛禽類が集団となって上昇気流に乗り、タカ柱と呼ばれるスパイラルを作って、高みに上る姿は圧巻です。春に南の国から渡ってきたタカたちは、子育てを終えた日本の里山から冬を過ごすためまた南の国(フィリピンやインドネシアなど)へ渡っていくのです。かくゆう私も9月の声を聞いてからそわそわドキドキ。タカの渡る日が日本語講座の日と重なりませんように!(MO)

